

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年11月20日

【四半期会計期間】 第91期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

【会社名】 石原産業株式会社

【英訳名】 ISHIHARA SANGYO KAISHA,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 藤 井 一 孝

【本店の所在の場所】 大阪市西区江戸堀1丁目3番15号

【電話番号】 06(6444)1853

【事務連絡者氏名】 経理部長 城 山 透

【最寄りの連絡場所】 東京都文京区後楽1丁目4番14号

【電話番号】 03(5844)6100

【事務連絡者氏名】 東京支店総務部長 大 櫛 直 樹

【縦覧に供する場所】 当社東京支店
(東京都文京区後楽1丁目4番14号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成25年11月11日に提出いたしました第91期第2四半期(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)の四半期報告書の提出後に、海外子会社との連結内部取引による未実現利益の連結消去額に誤りがあることが判明したため、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式(表示情報ファイルを含む)を提出いたします。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 業績の状況

(2) 財政状態の分析

(3) キャッシュ・フローの状況

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

四半期連結包括利益計算書

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

注記事項

(セグメント情報等)

(1株当たり情報)

四半期レビュー報告書

3 【訂正箇所】

訂正箇所は___を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次		第90期 第2四半期 連結累計期間	第91期 第2四半期 連結累計期間	第90期
会計期間		自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高	(百万円)	53,658	56,817	100,441
経常利益又は経常損失()	(百万円)	325	2,263	3,541
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失()	(百万円)	3	10,842	925
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	233	9,080	2,803
純資産額	(百万円)	50,513	43,980	53,064
総資産額	(百万円)	175,151	170,972	177,316
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は四半期純損失金額()	(円)	0.00	27.10	2.31
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	28.8	25.7	29.9
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	2,006	13,334	7,198
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	2,950	2,107	5,734
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	569	7,671	7,758
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(百万円)	17,411	20,955	16,997

回次		第90期 第2四半期 連結会計期間	第91期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純損失金額 ()	(円)	0.68	3.14

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(訂正後)

回次		第90期 第2四半期 連結累計期間	第91期 第2四半期 連結累計期間	第90期
会計期間		自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高	(百万円)	53,658	56,817	100,441
経常利益又は経常損失()	(百万円)	325	1,203	3,541
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失()	(百万円)	3	9,782	925
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	233	8,020	2,803
純資産額	(百万円)	50,513	45,040	53,064
総資産額	(百万円)	175,151	172,033	177,316
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は四半期純損失金額()	(円)	0.00	24.45	2.31
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	28.8	26.2	29.9
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	2,006	13,334	7,198
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	2,950	2,107	5,734
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	569	7,671	7,758
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(百万円)	17,411	20,955	16,997

回次		第90期 第2四半期 連結会計期間	第91期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純損失金額 ()	(円)	0.68	0.49

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

第2 【事業の状況】

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

(訂正前)

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日）における世界経済は、米国で緩やかな景気回復が持続し、欧州でも債務危機問題の鎮静化とともに実体経済面でも底打ちの兆しが見られるなどプラス面もありましたが、一方で中国やインドなど新興諸国では経済成長率の低下が見られるなど、やや力強さには欠ける展開となりました。その中で国内経済は、政府の経済対策や金融当局の大胆な金融緩和により円安と株高が進み、全体的に底堅く推移しました。

(中略)

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高568億円（前年同四半期比31億円増）、営業損益は14億円の損失（前年同四半期は23億円の営業利益）となりました。経常損益は、為替差損益の改善などで損益悪化幅が縮小し、22億円の損失（前年同四半期は3億円の経常利益）、四半期純損益は、特別損失でシンガポール子会社の生産終了と会社清算を前提とした固定資産の減損損失やその他追加発生費用見込額等112億円を計上したことなどから、108億円の純損失（前年同四半期は3百万円の四半期純利益）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

(中略)

(有機化学事業)

農薬は、国内販売は、ほぼ前年同四半期並みの売上高に止まりましたが、海外販売では、主力剤が総じて各地域で売上を伸ばすとともに、為替円安の寄与もあって、売上高は前年同四半期を約2割上回りました。特に、欧州では除草剤の売上が大きく伸長した他、天候要因により需要が減退する不利な市場環境でありましたが、殺菌剤、殺虫剤とも増収となりました。ブラジルでは前期に引き続き殺菌剤の売上が伸びた他、殺虫剤、除草剤も増収となりました。利益面では、新規剤の農薬登録申請に向けた開発費用の増加などにより、営業利益は前年同四半期並みとなりました。尚、現在進める一連の新規剤の開発は順調に進んでおり、前期に引き続き、今期は幅広い害虫種に効果を示す殺虫剤について、主要国での登録申請に向け準備を進めています。

医薬は、受託製造している医薬原末の出荷が前期から当第2四半期にずれ込んだことから売上高が増加しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は282億円（前年同四半期比45億円増）、営業利益は4億円（前年同四半期並み）となりました。

(後略)

(訂正後)

当第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日)における世界経済は、米国で緩やかな景気回復が持続し、欧州でも債務危機問題の鎮静化とともに実体経済面でも底打ちの兆しが見られるなどプラス面もありましたが、一方で中国やインドなど新興諸国では経済成長率の低下が見られるなど、やや力強さには欠ける展開となりました。その中で国内経済は、政府の経済対策や金融当局の大胆な金融緩和により円安と株高が進み、全体的に底堅く推移しました。

(中略)

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高568億円(前年同四半期比31億円増)、営業損益は3億円の損失(前年同四半期は23億円の営業利益)となりました。経常損益は、為替差損益の改善などで損益悪化幅が縮小し、12億円の損失(前年同四半期は3億円の経常利益)、四半期純損益は、特別損失でシンガポール子会社の生産終了と会社清算を前提とした固定資産の減損損失やその他追加発生費用見込額等112億円を計上したことなどから、97億円の純損失(前年同四半期は3百万円の四半期純利益)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

(中略)

(有機化学事業)

農薬は、国内販売は、ほぼ前年同四半期並みの売上高に止まりましたが、海外販売では、主力剤が総じて各地域で売上を伸ばすとともに、為替円安の寄与もあって、売上高は前年同四半期を約2割上回りました。特に、欧州では除草剤の売上が大きく伸長した他、天候要因により需要が減退する不利な市場環境でありましたが、殺菌剤、殺虫剤とも増収となりました。ブラジルでは前期に引き続き殺菌剤の売上が伸びた他、殺虫剤、除草剤も増収となりました。利益面では、新規剤の農薬登録申請に向けた開発費用の増加などを吸収し、増益となりました。尚、現在進める一連の新規剤の開発は順調に進んでおり、前期に引き続き、今期は幅広い害虫種に効果を示す殺虫剤について、主要国での登録申請に向け準備を進めています。

医薬は、受託製造している医薬原末の出荷が前期から当第2四半期にずれ込んだことから売上高が増加しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は282億円(前年同四半期比45億円増)、営業利益は14億円(前年同四半期比11億円増)となりました。

(後略)

(2) 財政状態の分析

(訂正前)

当第2四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べて63億円減少し1,709億円となりました。流動資産は、23億円減少し1,031億円となりました。これは主に現金及び預金の増加、受取手形及び売掛金の増加、棚卸資産の減少によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末と比べて39億円減少の677億円となりました。これは主にシンガポール子会社の固定資産減損等に伴う有形固定資産の減少と繰延税金資産の増加によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて27億円増加し1,269億円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加や関係会社整理損失引当金の計上と長短借入金の返済による減少によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて90億円減少の439億円となりました。これは主に円安に伴う為替換算調整勘定の増加と四半期純損失の計上によるものであります。

(訂正後)

当第2四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べて52億円減少し1,720億円となりました。流動資産は、13億円減少し1,042億円となりました。これは主に現金及び預金の増加、受取手形及び売掛金の増加、棚卸資産の減少によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末と比べて39億円減少の677億円となりました。これは主にシンガポール子会社の固定資産減損等に伴う有形固定資産の減少と繰延税金資産の増加によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて27億円増加し1,269億円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加や関係会社整理損失引当金の計上と長短借入金の返済による減少によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて80億円減少の450億円となりました。これは主に円安に伴う為替換算調整勘定の増加と四半期純損失の計上によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて39億円増加し、当第2四半期連結会計期間末における残高は209億円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各活動のキャッシュ・フローのうち主なものは、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失137億円（前年同四半期は33百万円の税金等調整前四半期純損失）、減価償却費及びその他の償却費28億円、減損損失58億円、関係会社整理損失引当金の増加48億円を加算し、たな卸資産の減少129億円と仕入債務の増加45億円等の収入に対し、売上債権の増加42億円等の支出があり、133億円の収入（前年同四半期は20億円の支出）となりました。

（後略）

(訂正後)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて39億円増加し、当第2四半期連結会計期間末における残高は209億円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各活動のキャッシュ・フローのうち主なものは、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失126億円（前年同四半期は33百万円の税金等調整前四半期純損失）、減価償却費及びその他の償却費28億円、減損損失58億円、関係会社整理損失引当金の増加48億円を加算し、たな卸資産の減少118億円と仕入債務の増加45億円等の収入に対し、売上債権の増加42億円等の支出があり、133億円の収入（前年同四半期は20億円の支出）となりました。

（後略）

第4 【経理の状況】

2 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】
 (訂正前)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,312	21,315
受取手形及び売掛金	³ 25,611	30,514
商品及び製品	31,653	<u>25,058</u>
仕掛品	6,822	5,928
原材料及び貯蔵品	20,683	16,985
繰延税金資産	1,877	1,396
その他	1,789	2,179
貸倒引当金	178	197
流動資産合計	<u>105,570</u>	<u>103,180</u>
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置(純額)	22,911	19,749
その他(純額)	32,134	27,654
有形固定資産合計	<u>55,046</u>	<u>47,403</u>
無形固定資産	284	236
投資その他の資産		
投資有価証券	4,885	4,463
繰延税金資産	9,106	12,923
その他	2,510	2,852
貸倒引当金	87	88
投資その他の資産合計	<u>16,415</u>	<u>20,151</u>
固定資産合計	<u>71,745</u>	<u>67,792</u>
資産合計	<u>177,316</u>	<u>170,972</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	³ 11,939	17,891
短期借入金	39,346	38,296
1年内償還予定の社債	200	200
未払法人税等	318	380
フェロシルト回収損失引当金	2,466	2,513
関係会社整理損失引当金	-	4,817
その他の引当金	598	538
その他	9,842	9,875
流動負債合計	64,713	74,512
固定負債		
社債	1,400	1,300
長期借入金	39,325	33,539
退職給付引当金	8,634	8,954
フェロシルト回収損失引当金	5,393	4,264
その他の引当金	591	647
その他	4,193	3,773
固定負債合計	59,538	52,479
負債合計	124,251	126,992
純資産の部		
株主資本		
資本金	43,420	43,420
資本剰余金	10,626	10,626
利益剰余金	2,163	8,678
自己株式	681	684
株主資本合計	55,529	44,683
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	245	270
繰延ヘッジ損益	64	32
為替換算調整勘定	2,674	973
在外子会社年金債務調整額	28	32
その他の包括利益累計額合計	2,464	703
純資産合計	53,064	43,980
負債純資産合計	177,316	170,972

(訂正後)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,312	21,315
受取手形及び売掛金	³ 25,611	30,514
商品及び製品	31,653	26,118
仕掛品	6,822	5,928
原材料及び貯蔵品	20,683	16,985
繰延税金資産	1,877	1,396
その他	1,789	2,179
貸倒引当金	178	197
流動資産合計	105,570	104,240
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置(純額)	22,911	19,749
その他(純額)	32,134	27,654
有形固定資産合計	55,046	47,403
無形固定資産		
	284	236
投資その他の資産		
投資有価証券	4,885	4,463
繰延税金資産	9,106	12,923
その他	2,510	2,852
貸倒引当金	87	88
投資その他の資産合計	16,415	20,151
固定資産合計	71,745	67,792
資産合計	177,316	172,033

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	³ 11,939	17,891
短期借入金	39,346	38,296
1年内償還予定の社債	200	200
未払法人税等	318	380
フェロシルト回収損失引当金	2,466	2,513
関係会社整理損失引当金	-	4,817
その他の引当金	598	538
その他	9,842	9,875
流動負債合計	64,713	74,512
固定負債		
社債	1,400	1,300
長期借入金	39,325	33,539
退職給付引当金	8,634	8,954
フェロシルト回収損失引当金	5,393	4,264
その他の引当金	591	647
その他	4,193	3,773
固定負債合計	59,538	52,479
負債合計	124,251	126,992
純資産の部		
株主資本		
資本金	43,420	43,420
資本剰余金	10,626	10,626
利益剰余金	2,163	7,618
自己株式	681	684
株主資本合計	55,529	45,744
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	245	270
繰延ヘッジ損益	64	32
為替換算調整勘定	2,674	973
在外子会社年金債務調整額	28	32
その他の包括利益累計額合計	2,464	703
純資産合計	53,064	45,040
負債純資産合計	177,316	172,033

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	53,658	56,817
売上原価	40,912	47,316
売上総利益	12,746	9,500
販売費及び一般管理費	¹ 10,380	¹ 10,948
営業利益又は営業損失()	2,365	1,447
営業外収益		
受取利息	21	27
受取配当金	57	60
為替差益	-	792
長期未払金一括返済益	317	-
その他	112	108
営業外収益合計	508	988
営業外費用		
支払利息	932	889
持分法による投資損失	553	458
為替差損	579	-
その他	482	456
営業外費用合計	2,548	1,804
経常利益又は経常損失()	325	2,263
特別利益		
投資有価証券売却益	-	44
特別利益合計	-	44
特別損失		
固定資産処分損	355	174
関係会社整理損	-	² 11,249
その他	3	99
特別損失合計	359	11,522
税金等調整前四半期純損失()	33	13,742
法人税、住民税及び事業税	291	395
法人税等調整額	328	3,295
法人税等合計	36	2,899
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	3	10,842
少数株主損失()	0	-
四半期純利益又は四半期純損失()	3	10,842

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	53,658	56,817
売上原価	40,912	46,256
売上総利益	12,746	10,561
販売費及び一般管理費	¹ 10,380	¹ 10,948
営業利益又は営業損失()	2,365	387
営業外収益		
受取利息	21	27
受取配当金	57	60
為替差益	-	792
長期未払金一括返済益	317	-
その他	112	108
営業外収益合計	508	988
営業外費用		
支払利息	932	889
持分法による投資損失	553	458
為替差損	579	-
その他	482	456
営業外費用合計	2,548	1,804
経常利益又は経常損失()	325	1,203
特別利益		
投資有価証券売却益	-	44
特別利益合計	-	44
特別損失		
固定資産処分損	355	174
関係会社整理損	-	² 11,249
その他	3	99
特別損失合計	359	11,522
税金等調整前四半期純損失()	33	12,682
法人税、住民税及び事業税	291	395
法人税等調整額	328	3,295
法人税等合計	36	2,899
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	3	9,782
少数株主損失()	0	-
四半期純利益又は四半期純損失()	3	9,782

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	3	10,842
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	61	25
繰延ヘッジ損益	14	31
為替換算調整勘定	263	1,551
在外子会社年金債務調整額	0	3
持分法適用会社に対する持分相当額	13	150
その他の包括利益合計	230	1,761
四半期包括利益	233	9,080
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	234	9,080
少数株主に係る四半期包括利益	0	-

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	3	9,782
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	61	25
繰延ヘッジ損益	14	31
為替換算調整勘定	263	1,551
在外子会社年金債務調整額	0	3
持分法適用会社に対する持分相当額	13	150
その他の包括利益合計	230	1,761
四半期包括利益	233	8,020
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	234	8,020
少数株主に係る四半期包括利益	0	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】
(訂正前)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	33	13,742
減価償却費及びその他の償却費	2,863	2,801
減損損失	-	5,808
貸倒引当金の増減額(は減少)	6	14
退職給付引当金の増減額(は減少)	367	308
フェロシルト回収損失引当金の増減額(は減少)	1,200	1,082
関係会社整理損失引当金の増減額(は減少)	-	4,817
その他の引当金の増減額(は減少)	106	4
受取利息及び受取配当金	79	87
支払利息	932	889
為替差損益(は益)	16	2
持分法による投資損益(は益)	553	458
固定資産処分損益(は益)	156	59
長期末払金一括返済益	317	-
売上債権の増減額(は増加)	3,505	4,263
たな卸資産の増減額(は増加)	705	12,930
その他の流動資産の増減額(は増加)	185	56
仕入債務の増減額(は減少)	776	4,578
その他の流動負債の増減額(は減少)	1,116	688
その他	7	175
小計	900	14,408
利息及び配当金の受取額	78	96
利息の支払額	879	897
保険金の受取額	-	19
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	304	292
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,006	13,334
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	139
固定資産の取得による支出	3,336	2,360
固定資産の売却による収入	291	253
貸付けによる支出	147	143
貸付金の回収による収入	147	67
その他	94	213
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,950	2,107

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還による支出	100	100
短期借入金の純増減額(は減少)	763	1,658
長期借入れによる収入	5,472	2,350
長期借入金の返済による支出	6,165	7,640
リース債務の返済による支出	464	500
預り金の受入れによる収入	1,462	1,214
預り金の返済による支出	397	1,333
自己株式の純増減額(は増加)	1	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	569	7,671
現金及び現金同等物に係る換算差額	66	403
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	4,321	3,958
現金及び現金同等物の期首残高	21,732	16,997
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 17,411	¹ 20,955

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	33	12,682
減価償却費及びその他の償却費	2,863	2,801
減損損失	-	5,808
貸倒引当金の増減額(は減少)	6	14
退職給付引当金の増減額(は減少)	367	308
フェロシルト回収損失引当金の増減額(は減少)	1,200	1,082
関係会社整理損失引当金の増減額(は減少)	-	4,817
その他の引当金の増減額(は減少)	106	4
受取利息及び受取配当金	79	87
支払利息	932	889
為替差損益(は益)	16	2
持分法による投資損益(は益)	553	458
固定資産処分損益(は益)	156	59
長期未払金一括返済益	317	-
売上債権の増減額(は増加)	3,505	4,263
たな卸資産の増減額(は増加)	705	11,870
その他の流動資産の増減額(は増加)	185	56
仕入債務の増減額(は減少)	776	4,578
その他の流動負債の増減額(は減少)	1,116	688
その他	7	175
小計	900	14,408
利息及び配当金の受取額	78	96
利息の支払額	879	897
保険金の受取額	-	19
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	304	292
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,006	13,334
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	139
固定資産の取得による支出	3,336	2,360
固定資産の売却による収入	291	253
貸付けによる支出	147	143
貸付金の回収による収入	147	67
その他	94	213
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,950	2,107

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還による支出	100	100
短期借入金の純増減額(は減少)	763	1,658
長期借入れによる収入	5,472	2,350
長期借入金の返済による支出	6,165	7,640
リース債務の返済による支出	464	500
預り金の受入れによる収入	1,462	1,214
預り金の返済による支出	397	1,333
自己株式の純増減額(は増加)	1	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	569	7,671
現金及び現金同等物に係る換算差額	66	403
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	4,321	3,958
現金及び現金同等物の期首残高	21,732	16,997
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 17,411	¹ 20,955

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(訂正前)

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	無機化学事業	有機化学事業	建設事業	その他の事業			
売上高							
外部顧客への売上高	27,101	28,295	869	551	56,817		56,817
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0		117	542	661	661	
計	27,102	28,295	987	1,093	57,479	661	56,817
セグメント利益 又は損失()	1,147	431	106	73	749	698	1,447

(注) 1 調整額は、次のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額 698百万円には、セグメント間取引消去114百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 812百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(訂正後)

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	無機化学事業	有機化学事業	建設事業	その他の事業			
売上高							
外部顧客への売上高	27,101	28,295	869	551	56,817		56,817
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0		117	542	661	661	
計	27,102	28,295	987	1,093	57,479	661	56,817
セグメント利益 又は損失()	1,147	1,491	106	73	311	698	387

(注) 1 調整額は、次のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額 698百万円には、セグメント間取引消去114百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 812百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(1株当たり情報)

(訂正前)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失金額()	0円00銭	27円10銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 又は四半期純損失金額() (百万円)	3	10,842
普通株主に帰属しない金額 (百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額 又は四半期純損失金額() (百万円)	3	10,842
普通株式の期中平均株式数 (千株)	400,076	400,013

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(訂正後)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失金額()	0円00銭	24円45銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 又は四半期純損失金額() (百万円)	3	9,782
普通株主に帰属しない金額 (百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額 又は四半期純損失金額() (百万円)	3	9,782
普通株式の期中平均株式数 (千株)	400,076	400,013

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月20日

石原産業株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小 西 幹 男 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 栗 原 裕 幸 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている石原産業株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る訂正後の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、石原産業株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

強調事項

注記事項 重要な偶発債務に、四日市工場内における土壌・地下水汚染への対応、及び、四日市工場内に存在すると推定される埋設物への対応に関する事項が記載されている。

当該事項は、当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成25年11月8日に四半期レビュー報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。